

総務常任委員会  
決算常任委員会総務分科会

(令和2年9月3日)

○ 荻須智之委員長

おはようございます。

それでは、総務常任委員会、監査事務局に係る議案の審査に入ります。

まず、事務局長よりご挨拶いただきます。

○ 清水監査事務局長

おはようございます。監査事務局長の清水です。

監査事務局からは、一般会計の歳出第2款の総務費、第6項監査委員費の決算の認定のほうをお願いしております。よろしくご審査のほう、お願いいたします。

○ 荻須智之委員長

ありがとうございます。

議案第21号 令和元年度四日市市一般会計及び各特別会計等の決算認定について

歳出第2款 総務費

第6項 監査委員費

○ 荻須智之委員長

では、議案第21号令和元年度四日市市一般会計及び各特別会計等の決算認定のうち、監査事務局所管部分を議題といたします。

本件につきましては、議案聴取会において、追加資料の請求がありませんでしたので、質疑より行います。

ご質疑等ありましたら、挙手にてご発言願います。

○ 豊田政典委員

おはようございます。

監査事務局の資料を読ませていただきまして、新たな監査基準によるリスク管理の視点を取り入れた監査の実施ということで、詳しく資料も頂いて、読ませてもらったんですけ

ど、これは一から新しい監査基準に基づいた監査が始まるということなんですか。

○ 川口監査事務局次長

監査事務局の川口でございます。

監査基準につきましては、本年4月1日からの施行になりますので、4月1日以降に実施します監査におきまして、監査基準に基づいた監査を実施しているところでございます。

○ 豊田政典委員

決算対象である令和元年度は、準備というか基準策定に取り組んだ1年だったという報告だと理解しますが、リスク管理の視点というのがポイントでいろいろ書いてあるんですけど、ちょっといま一つ、理解できないんですけど、リスクというのは問題の多い項目という、簡単に言えばそういうことなんですか。リスク管理の視点というのがよく分からなくて。

さらに、3ページを見ているんですけど、監査のやり方が先進市と大きく異なっている、本市は。とか、職員経験も浅い、そのやり方に対して。とか、ありますよね。それから、リスクの高い分野に、監査資源を振り向けなければならない課題がある。ちょっと理解できないんですけど、もうちょっとかみ砕いて説明いただけませんか。

○ 川口監査事務局次長

リスクの管理というところで、通常事務を行う中で一定の基準とか規則、条例等に基づいて、ルールに基づいた事務の執行でありますとか事業を行っておるわけでございますけれども、その中でやっぱりそのこのところから、それがきちっと守られていないとか、そういったことにおいて事務に支障があるとか、そういった部分が起こらないように、日頃から各所属でそういうリスクについての管理をしていただくというような観点で監査をさせていただくというのが今年度の主な監査の方法で変わってくるかと思っております。

○ 荻須智之委員長

その違反とかがリスクになるということでしょうか。

○ 清水監査事務局長

ここで言うリスクというのは、今まで監査で主に見てきたのは、発現してしまったミスとか不適切な事案とかというのを見ているわけですが、リスク管理というのはそういうものが起きる前の段階です。潜在したリスクが、どんなものがあるのかというような視点から、できるだけ事前に危険性を見つけて、原課で失敗が起こらないようなことで見ていこうというようなところ辺がリスク管理の視点なんですけれども、本来、法律改正でリスク管理の視点というのが盛り込まれたのは、まず今の段階では、政令市以上になっておるとい部分ですけれども、内部統制の方針を立てて、そこでちょっとリスク管理をきちっとしなさいよというのがございまして、そのリスク管理に基づいて監査のほうはリスク管理の流れがきちんと流れているかというようなところを見ていくというのが、法改正の趣旨なんですけれども、内部統制の部分が今、政令市まで終わっている段階で、監査のほうは政令市と同じような視点でリスク管理の視点を入れた監査を入れていけというようなことになっておりますので、監査事務局として独自の手法を試行錯誤しながら、他市のリスク管理のチェックシートなんかも参考に、現在試行的に行っているような状況でございます。

それから、他市と監査のやり方が異なるというのは、監査委員さんと事務局との入り込みの度合いというか、四日市の場合ですと、監査事務局は事前調査の段階で、いろんなミスのチェックとか、計数のチェックとかというところ辺が中心になっておりまして、それ以上のところは委員さんにお任せしておることなんですけれども、先進市といいますか、特に国が基準をつくる時に参考にした都市では、もう少し事務局のほうに内部のほうに入っておりまして、より深い事前調査をした上で、それを監査委員さんに報告するみたいな形でやっているということで、事務局に求められる知識とか、その辺もかなり要求される場所があるということで、先進市並みに同じような監査を今すぐにとというのは難しいということで、従来型の監査にリスク管理の視点をプラスするようなやり方で今現在行っておるといようなことになっておるといことで、本来はリスク管理をやることによって、監査の事務量というのは、今までやってきたような計数のチェックとかそういうところ辺は内部統制のほうに任せて、もう少し深いところをやりなさいよということになってるんですけども、今、四日市の状況としましては、そういうケースのチェックもやりながら、リスクのほうにもちょっと手を出すということで、業務量的にはちょっと増えた形になっておるといような状況でございます。

### ○ 荻須智之委員長

内部統制は、監査ではなくて各部局で行うチェックというふうに捉えたらよろしいですか。

### ○ 川口監査事務局次長

チェックというよりも、そもそもそういう誤りが起こらないように心がけていただくということで、担当者一人一人のレベルから入っていく話だとは思いますが、当然、内部統制部局からのチェックというのも中には入っております。

### ○ 荻須智之委員長

ありがとうございます。

### ○ 豊田政典委員

説明いただいたリスク管理の具体的な項目が、4ページから9ページに書いてもらったような時間外であるとか債権管理とか、こういうやつを対象に据えるということかなと思ったんですけど、それをあらかじめ各部局に示して、内部統制というか、こういうところを重点的に監査するので改善してほしい、そういうような在り方に変えるというのが一つなのかなと思いましたが、それから、監査のやり方、他の、国が参考にしたような市の監査のやり方との違いは、今までは部局別の定期監査をする場合に、原課が出してきた資料を事前に資料審査をして、監査委員に提供している。それをもっと、資料作成の段階から入り込む、監査事務局職員が。もっと深く現場の帳簿を見たりする、よく分からないですけど、入り込んだ上で、より監査事務局職員が深く入ると、そんなような受け止めでいいんですか。

### ○ 清水監査事務局長

今年、どういうふうに行っているかということでお話をさせていただきますと、今まで事前調査ではこんなミスがありましたとか、こういうミスが何件ありましたとかということら辺で終わっておったんですが、それに付け加えて、リスクの視点から、例えば人が少ないとか、あるいは経験年数の問題だったりして引継ぎがうまくいっていないとか、そういう背景にあるようなものも探しながら、結果としてこんなことが起こっていますという

ようなところ辺を、事前調査の段階でまとめさせていただいて、委員さんに見ていただくようなやり方を取っております。

それから、今まで委員さんの段階で問題にいただいた効率性であるとか経済性であるとか有効性の観点から、この事業、どうなんだというところ辺も、事務局として捉えた問題があれば、そこへ書き込ませていただくような形で議論の種にさせていただくような形にしております。

## ○ 豊田政典委員

今まで以上に事務局職員の視点も入れて、参考に、監査委員に議論してもらう、ネタを提供するみたいな考えでいいですか。少しは分かりました。

それはそれで分かったんですけど、ちょっと監査事務局の議会に提供してもらう資料の作りようなんですけど、今年はたまたま4ページから9ページまで、リスク管理に関する事例を出してもらったので、ページ数をたくさん取っている。これは、あくまでも監査した結果の内容ですよ。我々が審査したいのはそれじゃなくて、監査事務局の仕事の在りようなわけです。監査結果が知りたいわけじゃない。そこが、今年に限らず前から思っていたんですけど、皆さんの仕事っぷりを決算したいわけ。監査結果を見たいわけじゃない。だから、資料の作り方もまた工夫していただきたいなということと、あと、昨年、1年前も提案した件ですけど、1年監査を実施してもらって、それを市民の皆さんに公表するような発表会みたいなものがあったらどうだという提案をさせていただいたところ、去年は、今はホームページで公開しているだけですが、報告会を開催すると、それはまた検討していくという答えやったんです。

ある議選監査委員、そこに席がある人なんですけど、僕、やりたいですよと言っておるわけです、その人、森川さんなんですけど。というようなことを踏まえて、これはどうですか。

僕はもともと、森川さんが言っているような港へ監査に行ったときに、県監査と話をしていた、県からの監査委員、三重県はやっているんだと、こういうふうに行っているんだと。実際にホームページも見たんですけど、三重県の、非常に分かりやすいし、何か冊子みたいなものを作っていましたね、課題。今は知らないですよ、10年以上も前の話。監査から浮かび上がった問題点みたいな、分かりやすく市民、県民に公表している。それがきっかけで言っているんですけど、報告会なり公表の仕方について、何か検討されたええ話があれば教えていただきたい。

## ○ 清水監査事務局長

あまりええ話ではないですが、前回お伺いして、三重県のほうも調べさせていただいたんですけれども、その当時のことは今の担当者もちょっと分かっていないような感じで、申し訳ないですけど、なかなか情報が入手できなかったというところもありまして、ちょっと三重県のほうは参考にできなかつたんですけれども、例えば市民向けに発表会をしたときに監査だけでどれだけ人を集められるかという、ちょっと心配なところもございまして、もう少し検討させていただきたいかなとは思ってはいるんですが。

## ○ 豊田政典委員

分かりました。また研究してください。

以上です。

## ○ 樋口博己委員

9ページに至るまでそれぞれの原課への指摘事項等々があつて、評価・課題の中で一番下で、またからの契約事務、債権管理、財産管理などにおいて、原課での知識、経験不足があるという中で、その上で契約管理や債権管理、財産管理を所管する部局から原課へのモニタリング等の働きかけが弱いということが確認されたとなっているんですけど、これ、確認された上で、何か所管する部局から原課へのアドバイスをしてもらったとかそういうことはあるんでしょうか。働きかけをされたとか。

## ○ 川口監査事務局次長

昨年、監査、特に行政監査のほうにおきまして、内部統制の検証についてということでさせていただいて、その後、それぞれの内部事務等で管理するような部局のほうから各課に改めてというふうな働きかけがあつたということはちょっと確認はしておりませんが、通常、例年の業務を進めていく中で、会計事務であつたりとか、文書管理でありますとか、そういったものにつきましては、それぞれ担当の者を集めて研修も開いていただいておりますようですし、特に注意を要するような点につきましては、庁内の電子掲示板のほうへ注意喚起の文書をご載せていただいておりますとか、そういうことはさせていただいておりますので、そういった点での啓発といいますか、研修については従来から行っていた

いておるところであるかと、そういうふうには認識しておりますが。

○ 樋口博己委員

分かりました。

今年度の監査、来年またされると思いますけど、こういう課題で働きかけが弱いということが確認されたという中で、研修とかそういうのをしているので大丈夫だというような感覚だと思いますけれども、恐らくこれは昨年度だけの指摘ではないと思いますので、こういうところで改めて弱いというふうに指摘した上で、どういった改善がされたかという部分まで、来年の監査ではしっかりチェックいただきたいなと思います。よろしくお願ひします。

以上です。

○ 荻須智之委員長

ほか、いかがでしょうか。

○ 村山繁生委員

人事課の監査について、多分昨年の決算常任委員会でも、時間外勤務について具体的な対応策を示せとか、そういったことが多分この資料に書かれていたんだらうと想像するんです。私、去年いなかったもんであれなんですけれども、令和元年度も、働き方改革が実施されたにもかかわらず、月100時間、150時間を超える方が何人もいらっしゃるわけです。

ですから、この資料に監査の結果を、豊田委員はそんなの別に知りたくないとは言われたけど、そうじゃなくて、僕の場合は、同じように示せというふうなことを言われたのなら、この部局ではこういうふうに改善しましたよと、この部局ではこういうところがまだ全然改善されていない、もう少し詳しく教えてもらいたいなという感想ですが、いかがですか。

○ 清水監査事務局長

先ほどのご意見は、この報告書に記述せよというふうなことですか。

○ 村山繁生委員



ただ、同じように、5ページ、簡単に人事課で今後どのような対応を取っていくのか具体的な方向が定まれば示すことというふうに書いてあるだけなんです。令和元年度の時間外勤務の監査をされて、前年度とどういふふうに変ったかということを知りたいんです。

○ 清水監査事務局長

今現在ですと、12ページに、件数的には書かせていただいておりますが、もう少し内容を詳しくということでしたら、来年以降、付け加える方向で検討させていただきます。

○ 村山繁生委員

だから、具体的な対応を、せっかく働き方改革をなされて、減ったところもあると思うんです、実際に。そういうところをどういふふうに減らしたとか、そういうこと、ちょっとした内容を、まだ全然減っていないところも、あるいは逆に増えておるところもあるんですよ。その辺のところをもう少し、詳しく対応策を含めて具体的なものをもう少し示してほしいなという思いです。

○ 清水監査事務局長

来年度の調書では検討させていただきますので、よろしくお願いします。

○ 村山繁生委員

お願いします。

○ 荻須智之委員長

ほか、いかがでしょうか。

○ 豊田政典委員

村山委員の意見に反対なんですけど、僕はあくまでも監査の決算は監査委員、職員のやってきたことを、やり方を監査するんやと思っているんです。例えば、今の働き方改革によって、こういうのを指摘して、こういう改善あったとか課題が残ったかという部分は、それは一つは監査結果を見る機会が我々はあるじゃないですか、決算以外に、報告書をも

らったり。それで、我々は知ることができるし、指摘された側の総務部とかに決算で聞くのは分かるんだけど、監査資料にそこまで書いてもらって、それをこの決算審査の場で議論することになると、言ってみれば膨大な資料が必要になる可能性もあるわけです。指摘事項の内容、改善どうのこうの、内容まで踏み込むと。それをここの決算審査で議論するというのはそれは場面として適当ではないと思うんですけど、どうでしょうか。

○ 荻須智之委員長

ここで、ちょっと議員間討議に切り替えさせていただいて、ほかの方もこれに関して。

○ 豊田政典委員

資料を変えるというもので、清水さんが。

○ 村山繁生委員

私はそんなに深い意味で言ったんじゃないくて、確かに豊田委員の言われるように、本当は監査委員がどういう仕事をしてきたかという、そういう決算、それもよく分かりますけど、各原課に聞いても善処しますとか、そういうことしか返ってこないの、監査をされて、その中身をどういうふうに指導して、どういうふうに改善されたかということが監査だと思っんですけど。だから、そこの、特にほかのことは把握できていませんからあれですけど、特に時間外勤務、私は気になったものですから、そこのところをちょっと申し上げただけで。

○ 豊田政典委員

村山委員が言われることは分かりました。分かるので、例えば、監査ではこういう手法をお持ちで、何やらとかで指摘しました。だけど、これだけ改善できた、できなかったというのを課題として出してもらえば、より我々も審査しやすくなるんじゃないの。そういう視点で。

○ 村山繁生委員

そういう視点です。

○ 豊田政典委員

そういうのを出してもらうといいか分らないですね。監査、効果があったねとか、なかったねとか。

○ 萩須智之委員長

それは前々から、今回、様々な部署で豊田委員が主張される効果、成果と課題というのを見えるようにしてほしいという路線ですね。それでよろしいですね。

○ 笹岡秀太郎委員

だから、監査で指摘したものを、指摘された改善は各部局のそれぞれが受けて、それを決算に生かして市政運営をしていくかというのはそれぞれの担当部がどう扱うかということで、ここでそれをみんな扱っていたら大変なことになっていくね。

その辺はシステムとして出来上がっておるんやから、村山さんも言うように、その指摘事項を、例えば商工農水部が受けたとするならば、商工農水部が監査指摘を受けた事項についての改善点という報告がそれぞれあればできるはずなので、そういう意味でいうと、村山さんの言うように、その辺りのそれぞれの担当部局がそれを一つ明文化して、監査指摘を受けた事項の改善点みたいな報告をそれぞれさせるみたいなほうがより実効性があるんじゃないの。

○ 萩須智之委員長

そうなるよ、量を増やさずに端的にどういう対応、具体策があったかなかったかというぐらいは書き加えたほうがよさそうですね。

○ 笹岡秀太郎委員

監査事務局のこの人員の中で、その仕事をまた負わせるというのは大変なことになると思うよ。だから、指摘先がどう受けるかという辺りは、そこは任せんと、委ねないと。

もう一つ、よろしい、ついでに。

○ 萩須智之委員長

どうぞ。

○ 笹岡秀太郎委員

理事者に確認したいんですけど、この報告はどこまで行っているの。我々議会はもらっているけど、担当部局ももちろん行くやろうけど、どの辺りまで印刷して行っているのか、あるいは公表しているのかという。

○ 川口監査事務局次長

監査結果の報告書につきましては、各部局のほうに1冊ずつはお渡ししておりますし、ホームページのほうにも載せさせていただいて、全部局が参考にしていただけるようにしております。

○ 笹岡秀太郎委員

手段としてはそういうふうに整っておるんやったら、例えば市民意見の聴取もできるわけやな。そういう意味でいうと、システム自体は出てるんやで、実効性のあるものにしていくということ、村山委員のおっしゃるように。その辺をちょっと強化すればいいんじゃないかなとは思っています。

以上です。

○ 豊田政典委員

今、村山委員、笹岡委員が言ったように、監査で指摘があったり、いろいろ課題とされたことがどう受け止められたか、どう反映されていないのかというのを議会にも市民にも見える形にもっとするべきではないかと、これを監査事務局に全部まとめろというのは酷なので、各部局がこういうふうにやりました、まだ途中ですというのを決算書のどこかに書いておくとか、あるいはもちろん市民にも公表するとか、そういうシステムを組んでいただくように、旗を振ってもらったら総務常任委員長なのか監査事務局長なのか分かりませんが、どこかで考えてほしいなと思います。

○ 笹岡秀太郎委員

もう一つ言うと、そうしたらそれを監査事務局にレポートさせる、集約させる。そうすると、余計それがより実効性のあるものになる。

○ 土井数馬委員

システムの改革というか変え方で、今、言われた監査から指摘があった事項は各原課なり部のほうで、決算のときに、監査からこういう指摘があつてこういうふうに変更したとかいう、決算でそういう報告ができればいいと思うし、そういう指導もしていただけるんじゃないかと思う。

決算のときにこういう指導や監査から指摘があつてこういうふうに変更しました、まだ途中ですとか、常に、豊田委員が言っておるように、実績報告書なんかでもこれはやりました、これはやりましたというのがありますけど、監査からの指摘についてもそういうふうな対応をしていくというふうなことを、うまく位置づけられればできないことではないと思いますので、そんなシステムを変えてくようなことも試みてほしいなということで、要望をしておきます。

○ 荻須智之委員長

ありがとうございます。

事務局長、総括でどうぞ。

○ 清水監査事務局長

総括というか情報としまして、指摘事項に対して原課がどういう対応したかというのは、措置状況ということでまとめておりまして、指摘事項なら3か月後、それから意見とかについては6か月後に措置状況といったものをいただきまして、それから最終的に1年、6か月たったところで報告書として一応取りまとめてはおりまして、それをご参考いただければある程度のことは分かると思うんですが、ただ、今、うちの監査のやり方としては、かなり細かい事務ミスまで指摘しておりますので、それに対する措置も入っていて、膨大な量になっていきますので、本当に重大なところは見にくいというところがあるかも分かりませんが、その辺は、ちょっとこちらの指摘の公表の仕方も検討しながら改善を加えていこうとは思っていますので、より見やすくなるようなものとして報告できるような形にしたいと思いますので、そちらのほうもご参考いただければと思います。

○ 土井数馬委員

よく分かるんですけど、ただ決算の報告書に、いろんな定期監査のリスクが高いと思われる要因、例えば時間外勤務360時間を超える職員、これ、指摘がありましたよね。ここに出ている指摘ぐらい、私どもも見えるような、細かいところまで要りませんので、滞納債権の整理について、保育幼稚園課って、もしこれがどうだったかぐらいは、ここに出てる分ぐらい分かるようにはしてほしいなと思いますけど、そういう意味でお願いします。

○ 荻須智之委員長

ありがとうございます。

ほか。

○ 笹岡秀太郎委員

今の説明の中間報告というのは、市民にも公表されているの。

○ 川口監査事務局次長

冊子にしたものにつきましては、市政情報センターのほうにも備置きをしておりますし、ホームページのほうにも掲載をさせていただいて、市民の方もご覧いただけるようにはなっております。

○ 笹岡秀太郎委員

そうすると、村山さん、丁寧に扱っているってことやね。

○ 村山繁生委員

報告書ではあまり中身が分からないですわ。概略だけというか、改善しました、何か中身は全然、あまり具体的には分からないもので、それは一々全部細かいことを載せよとか、そんなことは僕も思っていませんし、重要なところ、ポイントポイントで、そこはちょっと知りたいなというふうに単純に思っただけです。

○ 荻須智之委員長

ありがとうございます。

村山委員が最初に言われたご意見に帰結したように思うんですが、要はあまり対策され

たことは分からないので、特に重要な事項に関してはポイントを示していただければということで、局長からご説明がありましたように、相当細かいところまで監査をしていらっしゃるんやなということが分かりました。それ、全部を見るのはやっぱり大変ですし、業務量が増えてもいけないというご意見もありましたので、それを踏まえて来年度以降、生かさせていただけるといいなと思います。

ということで、議員間討議はこれで一旦終結させていただきます。

ほか、質疑はいかがでしょうか。

(なし)

○ 荻須智之委員長

ありがとうございます。

それでは、討論に移ります。

討論のある方はご発言願います。

よろしいでしょうか。

(なし)

○ 荻須智之委員長

討論もないようですので、これより分科会として採決を行いたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

○ 荻須智之委員長

全体会に送るべきものにつきましては、採決の後にお諮りします。

よろしいですか。

(異議なし)

○ 荻須智之委員長

反対表明はありませんでしたので簡易採決とさせていただきます。

議案第21号令和元年度四日市市一般会計及び各特別会計等の決算認定について、歳出第2款総務費、第6項監査委員費につきましては、認定すべきものと決することにご異議ありませんか。

(異議なし)

○ 荻須智之委員長

ご異議なしと認め、本件は認定すべきものと決しました。

続きまして、全体会送りにつきまして、ご意見はございませんでしょうか。

(なし)

○ 荻須智之委員長

なしということですので、全体送りなしとさせていただきます。

[以上の経過により、議案第21号 令和元年度四日市市一般会計及び各特別会計等の決算認定について、歳出第2款総務費、第6項監査委員費について、採決の結果、別段異議なく認定すべきものと決する。]

○ 荻須智之委員長

これにて、監査事務局所管分の決算審査を終了します。

理事者の入替えがありますので、委員の皆様はしばらくお待ちください。

それでは、これより議会事務局に係る議案の審査に入ります。

まず、事務局長よりご挨拶をお願いします。

○ 濱田議会事務局長

議会事務局、濱田でございます。本日は議案第21号令和元年度四日市市一般会計決算認定についてのうち、歳出第1款議会費についてであります。



お疲れのところ大変でございますけれども、どうぞよろしくお願い申し上げます。

○ 萩須智之委員長

ありがとうございます。

議案第21号 令和元年度四日市市一般会計及び各特別会計等の決算認定について  
歳出第1款 議会費

○ 萩須智之委員長

では、議案第21号令和元年度四日市市一般会計及び特別会計等の決算認定のうち、議会事務局所管部分を議題といたします。

本件につきましては、議案聴取会において追加資料の請求がありませんでしたので、質疑より行います。

ご質疑がありましたら、挙手にてご発言願います。

○ 樋口博己委員

去年、決算で音声自動認識ソフトということで、庁内でワーキンググループで検討されているという話なんですけど、その後、どんなような動きなのでしょう。

○ 山路議会事務局次長兼議事課長

音声認識システムの庁内の導入状況でございますが、今年度の予算でICT戦略課のほうの予算がついておりまして、その予算を基に導入を進めております。

現在の状況ですが、ハード整備のほうが近々完了するということで、その後、ソフトの調整等を経て、その後利用できることとなりますので、この議会はちょっと難しいんですが、12月定例会議会については利用できるかという見込みでございます。

それは、ICT戦略課のほうでやっていただいておりますけれども、それまでの間につきましては、反訳業者が同じような音声認識システムを利用した文字起こしの提供を——有料になりますが——していただいておりますので、それを活用して今はやっている状況でございます。

以上でございます。

○ 樋口博己委員

そうすると、外部業者をお願いしているのは12月定例会月議会から切り替えるんですかね。

○ 山路議会事務局次長兼議事課長

まずは、ICT戦略課で用意するものを使ってみて、どちらがいいかというのを見極めたいと思いますので、今現在業者をお願いしているものと、本日のこの音声録音したデータをメールで送って、翌日の午前中に文字ができてくるという状況ですので、それよりも早く確実なものができるのであれば、ICT戦略課のほうの活用をしていきたいというふうには考えております。

以上です。

○ 樋口博己委員

分かりました。これ大体、皆さんの発言というのは、マイクが入って、大体あれなんですか、インターネットを見ていると、ちょっと話が途切れたりしているようなところがあるんですけど、文字化されるときには途切れなくされているんですか。

○ 山路議会事務局次長兼議事課長

業者に出しているものを翌日活字で上がってくるのを見ますと、内容は理解できるぐらいにはなっていますが、まだ、マイクに近づいていない、音を拾っていない部分がやはりありますので、感覚的には6割、7割ぐらいの完成度かなというふうな認識でおります。

○ 樋口博己委員

分かりました。我々もしっかり気をつけなあかんということですね。ありがとうございます。

○ 豊田政典委員

今のと関連するんですけれども、資料の5ページを見ながら、ここに反訳と校正の支出という実績があって、今はこの表にあるように、委員会と本会議と別々に反訳というのは業者に頼んで、業者の自動認識変換ソフトでやっている金のことだと思うんですけれども、

違うの。これは合わせて、平成30年度400万円ぐらい、令和元年度は470万円、そんな理解でいいんですか。

○ 山路議会事務局次長兼議事課長

この反訳につきましては、今の先ほど説明させていただきました音声認識を使ったものというよりも、さらに上の段階といいますか、本当の会議録にする段階のものを納品してもらおうような形で、どういうふうに業者がやっているかは確認しておりませんが、音声認識システムを利用したものを人が手作業である程度の形にしているのか分かりませんが、ある程度完成品に近いものを納品していただくというようなものでございます。

○ 豊田政典委員

じゃ、この5ページの表で聞いていきますけど、令和元年度反訳82万3680円、これは何の金なんですか。レベルの高いやつを返してくれるというやつなの。

○ 山路議会事務局次長兼議事課長

こちら、94時間で82万3680円というのは、本会議の会議録を反訳してもらったもので、ほぼ完成に近いものを頂いているということでございます。

○ 豊田政典委員

その前段階の、委員会なのかな、今言われた自動的にソフトで返ってくるというのは、この表でいうと、どこかに入っているの。

○ 山路議会事務局次長兼議事課長

それについては、今年度からの契約になりますので、昨年度、令和元年度はこの中には入ってございません。今年度からの契約になっております。

○ 豊田政典委員

この表のもう少し中身を聞きたいんですけど、まずテープをいずれにしても業者が出しますよね、それを昨年度までにしまししょうか、レベルの高い会議録の原案みたいなやつを返してくれるのが反訳の82万3000円であつたり、委員会の380万円ですよね。本会議のそ

の下の校正というのは、31万円は誰がやるの。

○ 山路議会事務局次長兼議事課長

ほぼ9割か何割かできたものを原稿でもらって、それを事務局のほうで微修正をしながら、校正という業務の中で、同じくまた返して、業者のほうでそれを修正いただくというような形です。

○ 豊田政典委員

そうすると、まず録音したテープを業者に渡して、業者側が第1段階のやつを、9割ぐらいできたやつを返してきて82万3000円かかりましたと。それを受け取った事務局が校正をして、同じか別の業者か分かりませんが、やり取りをする作業が31万円かかりました。そういう流れでやっておりますと。これに何か月ぐらいかかっているんですか。本番から出来上がりまで。

○ 山路議会事務局次長兼議事課長

会議録については、次の議会のほうにはもう完成品として皆さんにお渡ししている状況ですので、反訳についてはもうすぐにでも返ってきますけれども、今ですと9月ですので、9月中には反訳がすぐにでも返ってきますけれども、校正に当たりますのは、やはり事務局の職員も本会議が終わった後になりますので、10月になってからということで、そこから事務局のチェックが入って校正作業ということになりますので、そういう校正作業を経て、あと、印刷業者に回して、次の12月定例会議の冒頭にお渡しできるというような流れになってまいります。

○ 豊田政典委員

ごめんなさい、答弁をいただいたんですけど、質問を間違えました。

何か月かかるというよりも、去年の答弁にあるように、今のやり方だと事務局職員の負担が非常に大きいということですよ。校正に時間がかかると。

今、樋口博己委員がやり取りしていたのは、反訳の部分を自前でやるソフトを導入する予定だと、そんな理解でいいの。

#### ○ 山路議会事務局次長兼議事課長

会議録につきまして、私が最初にしゃべっていたのが委員会の会議録を主に思ってしゃべっておりました。本会議の会議録につきましては、今までどおりの反訳業者に活字に起こしてもらって、それを校正して完成に至るといような流れを想定しております。

いまだに文字認識につきましてはなかなか、全くの完成品というのは難しいと思いますので、こちらにつきましては、委員会の分科会長報告を時間のない中で作成するに当たって、その作業に当たるために活字にしてもらおうというように思いで利用したいと考えております。

#### ○ 豊田政典委員

今さらながらの質問で申し訳ないんですけど、委員会会議録って作りますよね。それとは別に急ぎの分科会長報告とか委員長報告とかありますよね。これは別か、委員長の話やで。委員会の会議録って作りますやん、最終的には。それと本会議の会議録、永久保存と、重みが、位置づけが全然違うんですか。委員会会議録って作らなければいけないもので永久保存なのか、本会議会議録のように。もっと軽いものなのか。ごめんなさい、低レベルな質問で。

#### ○ 山路議会事務局次長兼議事課長

本会議の会議録については作成の必要がありますが、委員会の会議録についてそこまでということはないというように理解をしております。

#### ○ 豊田政典委員

四日市市議会では、今、これを見ると反訳業者に384万円を払って、これ、委員会会議録ですよね。何らかの形で高レベルのやつを返してもらって、校正せずにそのまま保存していると、そういうことですか。

#### ○ 山路議会事務局次長兼議事課長

委員会の会議録も反訳業者に活字にさせていただいたものをチェックして、それは事務局のほうで修正を加えて、保存をしているというように状況でございます。

○ 豊田政典委員

校正はもう業者には戻さないのだからここには載ってこないけど、事務局の作業量としては莫大な時間がかかっているという話ですよ。

自動反訳に戻ると、委員会の委員の発言録は自動ソフトを使ってやるんですか、やらないんですか。

○ 山路議会事務局次長兼議事課長

委員会の正規の会議録をどうするかというご質問でよろしいでしょうか。

今の段階で考えていますのは、音声認識でやるものというのは、精度的にはあまり高くないということで、委員会の会議録は今までどおり、令和元年度でいきますと384万円という数字がありますが、こういう部分でお願いしたいと考えております。

○ 豊田政典委員

そうすると、まずは、少なくとも急ぎの分科会長報告、いつまでに作らなアカンとかというやつに試すというのはあれですけど、導入してみようかというのが今年度のスタートであると、こんな理解でいいですか。

○ 山路議会事務局次長兼議事課長

委員おっしゃるとおりで、かなり今の分科会長報告作成に当たりは事務局の職員の負担が大きいですので、その辺は負担の軽減という思いもありまして導入をさせていただいております。

○ 豊田政典委員

今の件、了解したので、あと二つ、簡単な質問をしてもいいですか。

○ 萩須智之委員長

どうぞ。

○ 豊田政典委員

6 ページの市議会中継関係経費の中のインターネット配信委託というのを表にしていた

いただきました。インターネット配信の表の一番最後、令和元年度録画中継アクセス数、これは桁違いに増えているんですけど、13万4000件、これはなぜなんですか。

#### ○ 山路議会事務局次長兼議事課長

確かに桁違いに増えていまして、私どもも不思議に思って確認をいろいろ作業しているところなんですけれども、一つは、昨年度から新しくといいますか、それまではタブレットとパソコンと二つ系統を分けての契約でしたけれども、昨年度から1本の契約とさせていただきます、ホームページ上の画面も変わっているような状況があります。

システムも変わっているという状況になりますので、アクセスの集計の方法が変わったんじゃないかということで業者のほうにも確認をしておったところなんですけれども、その中で見えてきましたのが、同じIPアドレスから短時間に複数回アクセスしている可能性があるということで、その辺の調査をしていただいているんですが、そういう傾向が見られるというような話がありましたので、今後になってしまいますけれども、アクセス数のカウントの仕方の見直しを検討したいというふうには、今ちょっと考えております。

以上でございます。

#### ○ 豊田政典委員

それで結構ですので、できる範囲で、理由を把握した上で議会に生かしていけるのかなと思います。

もう一つは、7ページの真ん中のインターネット配信事業費、会議録の閲覧検索の金がかかっているんですけど、これは何の金なんですか。

#### ○ 山路議会事務局次長兼議事課長

インターネット上で過去の会議録等を検索していただきますので、そのデータの管理とか保守とか、その検索のシステムの利用料というふうに理解をしております。

#### ○ 豊田政典委員

システム利用料、検索ソフトの利用料みたいなもののイメージですか。

#### ○ 山路議会事務局次長兼議事課長

その検索システムを業者のほうに構築していただいていますので、利用料とっていいかと思います。

以上です。

#### ○ 豊田政典委員

取りあえず、分かりました。

#### ○ 土井数馬委員

昨日、総務部のほうでもあったんですけども、選挙、投票率が低いとかいろいろ問題が出てきていましたけれども、議会のほうでも責任があるんじゃないかと。よく言われるんですけども、やはり候補者や、あるいは出ている人にも、投票率が低いのは責任があるというふうによく住民の方が言われるわけで、これはやはり議会のほうとしても、積極的に投票に行こうとか、その重要性というのをどこかで出すべきだと思うんですけども、広報広聴委員会というのがあれば、今の広報広聴委員会のあれを見ていると、議会だよりか、議会が終わるとあれを作るのに、よりよいものを作ろうとか一生懸命やってもらっているんですけども、やはり別の機会に、広報広聴委員会がどういう位置づけになっているのかちょっとよく分からんのですけれども、きちっとテーマを出して投票に行くような紙面を作っているとか、前も言いましたけれども、やはり1枚物でも構いませんので号外を出していくとか、時期が来れば、そういうふうなことも、やはり事務局から提案をしていただくべきやないかなというふうに思っております。

市長選が次にありますけれども、それはもう市長選は向こうでやらしてもらえばいいので、やっぱり市議会としては市議会議員選挙の投票率を上げていくというのであれば、やはり中身も充実するのはもちろんですけども、やはりもうそれに絞ってのことも必要だと思いますので、事務局のほうから提案してほしいなというふうに思うんですけど、どうでしょうか。

#### ○ 山路議会事務局次長兼議事課長

過去に、市議会についてのアンケートを二、三年前にしたこともあるんですけども、やはり市議会に対する興味とか関心とか、そういうのがあまり高くないというのが、例えば高校生に聞いたアンケートでは、市議会に関心があるという方が23%しかなか



った現状がありますので、市議会により興味を持ってもらうように紙面作りというのを考えていかなあかんと思いますので、その中で号外というのも目を引く取組というのは必要かと思いますので、また議長とも相談しながら提案してまいりたいと思います。

#### ○ 土井数馬委員

お願いしておきますけれども、それと、議長、副議長は毎年変わってまいりますので、肝腎なときの議長、副議長に当たった場合、やはり積極的にアプローチしてほしいですし、それと市議会のモニターなんかもあるわけですので、やはりその都度そういうのを喚起していただくというのが大事だと思いますし、議会報告会やシティ・ミーティングなんかのときも、委員長とか皆さんにもお願いをするわけですが、やはりその都度喚起していくことも大事だと思いますので、議会事務局からもどういふふうな、委員長なんかにアプローチしたらいいのかとか、その辺を十分に考えていただいて、選挙の重要性とか投票率を上げるんだというのは、議会全体で考えていく問題だと思いますので、その辺はちょっと腹の中に入れておいてほしいなと思いますので、よろしくお願いします。これも要望です。

#### ○ 荻須智之委員長

ほか、よろしいでしょうか。

#### ○ 笹岡秀太郎委員

日々ご苦勞さまでございます。議会活動を助けていただきまして感謝しております。

市議会便覧を発行してもろうていますよね。議会便覧の経費というのはどれぐらいかかっているのか、発行部数とか、それから発行先、配付先というのかな。

#### ○ 山路議会事務局次長兼議事課長

市議会議便覧につきましては、合計で580部ぐらいの部数を印刷しております。議員の皆様であるとか、便覧の中に掲載している職員であるとか、あとは関係機関等に送らせていただいております。

#### ○ 笹岡秀太郎委員

そうすると、各議員で希望数も取ってしておる分も含めて580部ということね。

○ 山路議会事務局次長兼議事課長

それはちょっと別になると思いますが、議員さんに最初に配付する部分がここに入っております。

○ 笹岡秀太郎委員

そうすると、議会費としては当然その部分ということで、プラス我々が希望する分に関してはプラスそれぞれ自己負担でと。自己負担はどれぐらいの部数を印刷しているの。この経費には関係ないのでいいんだけど、全体でどれぐらいを発行して、どれぐらいばらまかれているかというのがちょっと気になるもので。恐らくどこかで出てくるので、今日は決算やでちょっと省くとして、これのいわゆる編集とか内容についてのチェックとか、あるいは掲載の方針というのは、議会側はどういう関係があるの、議員は。例えば、どこかの広報広聴が何か見るのとか、そういうことはないの。

○ 山路議会事務局次長兼議事課長

実際の問題としましては、これは毎年、過去からずっと発行しておる経緯もありまして、事務局のほうで例年どおりというような作り方というのが例年の作り方で、チェックのほうも事務局のほうでさせていただいているのが現状であります。

○ 笹岡秀太郎委員

そうすると、いわゆる編集とか内容のチェック等、全ては事務局が責任を持ってやると、こういうことになりますよね。

○ 山路議会事務局次長兼議事課長

掲載内容に変更がない場合ということだと思うんですけども、そういう場合は、過去はそういう感じで来ていましたので、事務局のほうに任せていただいているというふうな認識をしております。

○ 笹岡秀太郎委員

一部住所が載っていない議員がありますが、これは恐らく議員の意向を生かしていただいておりますと思うんですけど、例えば今回の方針で、コロナでもしも我々が何か陽性が出たとか、そういうことは公表するというふうに指針が出されたと思うんです。

そうすると、そういう公表をするときに媒体としての、例えば市民の人が亡くなる、どこか何か理由のあるところに差があっているのかなど、一部の人は住所がないので、例えば私だと四日市市東阿倉川って出ているから、東阿倉川の人なんだと分かるけど、あるいは何かで調べようと思ったときに、この580部というのはどこかで生きてくるはずだから、その辺は議論にはなっていないの。ここで議論していいのか悪いのかちょっとよく分からないので、そぐわないかも分からないけど、委員長。

ただ、やっぱり掲載内容にそれぞれの意思を尊重するというのは大事なことだと思うので、それはもうそれで特にいいとは思いますが、今こういう時代になったときに、議員の立場だから公表されるとするならば、一律の基準というのがやっぱり要るのではないかなというふうに思います。あかんよということは言ってへんよ、一律の基準、だからもう住所を載せたくないという方がいらっしゃるんやったら、皆さんにも一度確認せなあかんのと違うかと。あるいは、もう住所を外しましょうかと、そういう議論もどこかであってもいいんじゃないかと思うのね。

あわせて、同じようなことに、ホームページにも議員の紹介のところで一部議員さんで住所が分からないところがある。それは、ここで同じく議論することではないとは思いますが、やっぱりどこかで一律の方針というのを議会事務局も、今の便覧がそちらのほうに責任があるとすれば、どこかの時点でちょっと一遍議論してもらいたいなというふうに意見だけ伝えておきます。決して駄目だと言っているんじゃないよ、やっぱり統一性があつたり公平感がないと、ちょっとまずいのではないかなという気がするので申し上げました。

## ○ 萩須智之委員長

ちょっと確認させていただきますが、それは議員側から載せないというご意向があったということかということと、載せる載せないについての規定があるのかどうかだけお答えいただいておりますでしょうか。

## ○ 山路議会事務局次長兼議事課長

載せなかったことについては議員からの希望というか、理由を示した上で掲載しないということがあります。載せるか載せやんかにつきまして明確な規定があるかというご質問ですけれども、そちらについては明確なものはないというふうに認識しております。

○ 萩須智之委員長

ありがとうございます。

笹岡委員、どうでしょうか。また別の機会にしますか。

○ 笹岡秀太郎委員

だから、決算にはあまり関係ないけど、今回発行しておるので、580部発行しておる、プラス、これは議会費で使って広く公に出しておるということになってくるので、編集責任というにはやっぱり方針、責任というと大変申し訳ないけど、方針というのはやはりどこかできちんと議論をしておかんとあかんのと違うかなという気がします。

絶対駄目だということは言っていないの。載せないなら載せないという方針を出していただければ、それぞれの思いを尊重しますよということであればそれでいい。

ただ、今回の議会の中で、我々議員がコロナにかかった場合、公表すると言っておるから、公表の基準にもここに関わってくるかなと思うんですよ。例えば、ホームページもそうだし。そういうといころでいうと、どこかできちんと整理をしておかんと、それならもう公表されるのやったら住所も何も載せんでおこうかというのは尊重されるとするならば、それはそれできちんと報告書をどこかで出してもらいたいなという思いがあって申し上げたというところですよ。

○ 萩須智之委員長

ありがとうございます。

しかるべき会議体でもんでいただくようお願いしておきます。

○ 樋口博己委員

便覧の件なんですけど、発行時期がいつも7月20日前後ぐらい、15日中旬ぐらいなんですけど、もっと早くならんのですかね。これは要望ですけど、ちょっと状況だけ教えてください。

○ 山路議会事務局次長兼議事課長

事務的に、各関係部とか関係機関に照会をかけて、その上でチェックを入れてという作業が入りますので、なかなかすぐにいつまでにできるというのはご返事が難しいんですけども、少なくとも令和2年度の分について、早く用意するほうが本来の形だと思いますので、可能な限り対応できるよう検討してまいりたいと思います。

○ 荻須智之委員長

ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

○ 村山繁生委員

参考までに聞きたいんですけど、9ページの他市町からの視察なんですけど、半数以上が議会改革というか議会関係なんですけど、議会関係以外で、議会が第1位とすれば2位、3位というか、どんなことについて視察されたのか、分かれば。

○ 山路議会事務局次長兼議事課長

平成31年度の状況で、議会以外の項目についてなんですが、どういう傾向が高いかというのが実際のところあまりなくて、中身を二、三紹介させていただきますと、外国にルーツを持つ幼児のための就学前支援について、食肉センターについてとか、台風、津波等の非災害対策についてとか、市立病院について、生活バスについて、ごみ処理についてとかというような形で、ほかは何が多いかというのは、特段傾向としてはあまりないのかなというふうに考えております。

ただ、近年、議会に対する視察と、市側の視察の割合で考えますと、以前は市側の視察が結構割合的には高かったのがだんだん低くなっているというのが印象でございます。

以上です。

○ 村山繁生委員

ありがとうございます。参考までに。

○ 荻須智之委員長

ほかはいかがでしょうか。

(なし)

○ 荻須智之委員長

なしのお声をいただきましたので、これより討論に入ります。

討論がありましたらご発言願います。

(なし)

○ 荻須智之委員長

討論なしということですので、分科会としての採決を行います。よろしいでしょうか。

(異議なし)

○ 荻須智之委員長

なお、全体会へ送るか否かは、採決の後にお諮りします。

よろしいでしょうか。

(異議なし)

○ 荻須智之委員長

では、原則通り反対表明がありませんでしたので、簡易採決とさせていただきます。

では、議案第21号令和元年度四日市市一般会計及び各特別会計等の決算認定について、歳出第1款議会費につきましては、認定すべきものと決することにご異議ありませんか。

(異議なし)

○ 荻須智之委員長

ご異議なしと認め、本件は認定すべきものと決しました。

続きまして、全体会送りへの提案を伺いますが、いかがでしょうか。

(なし)

○ 荻須智之委員長

ご提案なしということで、全体会送りはなしとします。

[以上の経過により、議案第21号 令和元年度四日市市一般会計及び各特別会計等の決算認定について、歳出第1款議会費について、採決の結果、別段異議なく認定すべきものと決する。]

○ 荻須智之委員長

それでは、これにて議会事務局所管部分の決算審査を終了します。

1時間ちょっとたちましたので、休憩も取らせていただいて、理事者の方は退席していただきます。お疲れさまでした。

次は、提言シートの見直しと新たな項目があればということで、それについての議員間討議をお願いしたいんですが、いかがでしょうか。

○ 笹岡秀太郎委員

ちょっと確認します。提言シートは、森川さんはないんやね。

○ 荻須智之委員長

森川さんは入らないということです。

どうでしょう、午前11時25分再開でよろしいでしょうか。

(異議なし)

○ 荻須智之委員長

では、休憩とさせていただきます。

○ 荻須智之委員長

そうしますと、決算常任委員会全体会審査の中で示されました政策提言シートの振り返りと、今回、新たな提案がございましたらまとめさせていただこうと思います。

そうしましたら、どうでしょうね。振り返りという点では、休会中の全体会審査で反映状況、対応状況というところまできちっと文章にはされてはおるんですけども、決算審議を通して何かこれに加筆とかお気づきの点、もしくは、さらに進めてこれを変えた形でも提案というようなご意見がございましたら承ろうと思いますが、いかがでしょうか。

資料としては、7、8月休会中の1番上の決算常任委員会の01政策提言に対する対応状況についてという17枚物の資料がございます。これが休会中7、8月の03決算常任委員会、一番上ですね。それで開けていただきますと、その中の01令和元年度8月定例議会の決算審査における政策提言に対する対応についてという項目がありますので、17枚物です。

○ 豊田政典委員

緊急輸送道路については決算審査の時間の中にあったように、今年度中に国道477号を第1次に転換する方向で協議していくという話がありましたが、分科会長報告に書いてもらうのはもちろんのこと、この提言シートらしきもの、提言シートじゃないな、反映状況や対応状況、これをどんどん加筆していったほうがいいんですかね。事務局に聞いたほうがいいのかな。

○ 荻須智之委員長

これは、最初の提案者の方に聞かんと分らんのですが、どういうご意図でこれを始められたかという、最初の形がずっと継承していくものなのか、1年、2年で終わっているものなのかというのも、まだ本決まりになっていませんので、どういうふうな形ですか。

○ 樋口博己委員



来週の火曜日、調整会議があるかと思うんですけど、そこでできれば分科会長から分科会でこのような意見があって、一度理事会でも確認していただけないかなと思うんですけど。その上で、全体会に臨む前に、できれば少し理事会で何らかの形で、協議までいかななくても、そういう意見があったという確認だけでもしていただけたらたなと思うんですけども。

○ 荻須智之委員長

提言シートの扱いについて、もう一度確認をしてほしいというふうに上げます。

それで、今年度以降どうしていくかという細かいこと決まっていませんでしたので、今、豊田委員が言われるように、加筆していくというのもありかなとも思いますし、最終的に決着を見たものについてはもう除外していてもいいとは思いますが、ほとんど残るんですよね、これ。

○ 笹岡秀太郎委員

だから、樋口さんの言うように、それぞれの委員会で対応も議論があるかも分からん。やっぱりどこかでまとめて方向性を協議してもらおうというのはそれでいいじゃないかと思うんやけど、どうでしょうか。

○ 荻須智之委員長

ありがとうございます。

各委員会、いろいろあると思いますので、調整会議でまず上げて、理事会を開いていただくということですね。そうさせていただきます。

○ 豊田政典委員

調整会議、火曜日というのは、調整会議というのは正副分科会長と正副委員長が集まるやつだから理事会とは違うな。

○ 荻須智之委員長

理事会を招集していただかないと。

○ 笹岡秀太郎委員

できるかな。だって、それはここに権限はあらへんやん。それはもう調整会議の中でそういうものを提案された上でしかるべき会議体でというところしか手はないのと違うの。

○ 萩須智之委員長

調整会議で、私、提案できるのかな。オブザーバーなんやけど。

○ 山路議会事務局次長兼議事課長

調整会議は委員長として出てもらいますので。

○ 萩須智之委員長

まずは、提案します。

○ 樋口博己委員

調整会議で提案いただけるとするならば、豊田委員がおっしゃったとおり、加筆、更新していくということなんだろうなと思っています。

○ 萩須智之委員長

更新を前提にということですね。分かりました。

○ 豊田祥司副委員長

この反映状況のところの加筆という話ですけれども、これは理事者側が書いたもので、理事者側に追加してもらおうというふうなのか、ここに委員会として加筆ってできるのかというのがちょっとどうなんだろうという気が……。

○ 萩須智之委員長

ちょっと待ってください。

これの扱いなんですけど、本来は議員間の発言が記録されていくものなんですけど、これをまとめていただいた反映状況とか対応状況というのは、役所側の対応なので理事者が書いていただいているわけですね。

キャッチボールになっていくのか分かりませんが、これを踏まえてということでも、また議員の意見も載せていくということになるかと思うんですが。

#### ○ 山路議会事務局次長兼議事課長

明確に決算の中でどこまで確認されたかというのは、ちょっと私も何とも言えないんですけど、提言については予算に反映されたかどうかというのをまず確認して、8月初めの決算常任委員会でもどういう対応をするかは確認されておりますので、その状況について、この分科会の中でも確認というのはあるんでしょうけれども、改めて同じ内容を提言していくのであれば、まずゼロベースかなというふうな認識を持っておりました。

基本的には、今年の提言というのは今年の予算にどう反映されていくかですので、この委員会の中で見守っていきながらいくのかなという認識でおったところなんですけれども。

#### ○ 萩須智之委員長

更新するにしても、ゼロベースでということですね。

皆さん、それぞれ受け取り方が違うので、この辺を調整会議、理事会で方向づけさせていただくということで、それに向けてここだけはちょっと発言しておきたいとかというようなご意見等がありましたら、三つありましたんですけれども、承らせていただきますがよろしいですか。

#### ○ 笹岡秀太郎委員

樋口さんの言うことも一理あるので、提言についてはやっぱり再提言というのは一番普通の形なのかなと。提言の反映状況を受けて、委員会の中で議論して、やはりこのものを再度提言として上げていきたいなというんやったら、それで十分できるかなという、そういう気がするんやけど。それも含めて、ちょっと一遍議論してもらったら、委員会の調整会議で。

#### ○ 萩須智之委員長

ただ、その反映状況についての議論はもう今しかできませんよね。ですので、ざっとここでレビューをして……。

○ 村山繁生委員

今、笹岡さんが言われたように、対応状況を見て、なおかつそこに対してまた再提言するということがいいと思うんです。例えば、緊急輸送道路やったら、総合防災拠点が完成していない段階での見直しを行えという返答だったと書いてありますね。だから、これ10月に完成したらまた協議ができるというふうに見ていたわけです。だから、そういうところを再提言すればいいんじゃないですか。

それぞれの対応状況を見て、もう予算化されているのはよろしいけれども、こういったまだこれから進めていこうとすれば、対応状況を見て再提言すればいいんじゃないかと思っています。

○ 萩須智之委員長

了解しました。

○ 豊田政典委員

森委員長に文句を言うわけじゃないですけど、僕、8月の全体会で聞いたかったのはその点で、ルールが決まっていないうまま分科会が終わっちゃうんですよ。調整会議に持って行ってもらっても間に合わなかったりするんで、それが言いたかったけど、はっきりしない中で、山路さんが言ったように、ゼロベースのをもう一回出し直せということになると、三つとも出さなあかんわけですよ、資料をつけて。そうじゃなくて、恐らくお二人が言われる再提言というのは、1年たってここで協議したやつを加筆とかバージョンアップしたやつの形を出すということですよ。ゼロからもう一回、パート2で出すわけじゃなくて、続きを出す。さらに浮かび上がった問題点とか、まだ不足の点を整理してまとめて出す、続きを出すんです。

○ 萩須智之委員長

当委員会の認識としてそういう形で統一させていただきます。

少なくとも総務常任委員会としては、この三つを引き継いで再提案していくという形を取らせていただくということによろしいでしょうか。

○ 豊田政典委員

その上で、緊急輸送道路はそういうことですが、国道477号の問題と樋口博己委員が最後に言われたように、まだ対応できていない部分もあるじゃないかと、液状化、ここはまだ対応状況も示されていないということは言われたし、議論があったので書いてほしい。

実行委員会のところで私が気になっているのは、村山委員が企画運営でしたっけ、900万円のやつ、随分やっていましたやん、花火大会。あれも関係ある話で、実行委員会形式であろうがなかろうが、我々の提言の最終ポイントは、より充実させる方法を考えるということなんです。だから、あれも随契じゃないけど、10年も一緒の業者でやっておるのはおかしいというところもうまく提言に組み込んでいったらどうかなということと、それから、委員長と少ししゃべっておったんですけど、休憩中に、樋口さんが言われたりするように、例えば観光協会、この3事業以外ですけど、ハーフマラソンなら体育協会、音楽コンクールやったら文化協会、そういうのを育てていく必要もあるんじゃないかと僕は思う。2人、3人でしゃべっておったんですよ。その辺の視点を入れるのも一つかなと、続きとして、このテーマの。

実行委員会形式の見直しをやるこのタイミングだからこそ、周辺の協会育成に力を入れるべきであるという話もあったようななかったような話じゃないですか、こういうのも入れていったら、追加していったらどうかなと私は思います。

#### ○ 萩須智之委員長

高進化したという点では、そういう方向づけをしていくのはすごくいいことだと思います。ありがとうございます。

では、そういう観点から反映状況、対応状況に対してご意見をいただいて、ざっと集約したものを出せるように準備させていただこうと思うんですが、いかがでしょうか。

#### ○ 樋口博己委員

今、豊田委員からのご発言いただいた文化協会、観光協会、そういった団体を支援、育成というところで、これはぜひとも書いていただきたいんですけども、その中で育成については、観光協会に対してですけど、財政的支援というよりは人的支援という話もあったので、そんな人的支援という文言もちょっと入れていただきたいと思います。

#### ○ 萩須智之委員長

承知しました。

このまち、変わっていますね、観光協会、文化協会がほとんど機能していないということで、よその30万人都市ぐらいに比べるとないんですわ。ですので、それを強化していくというのはこの際、いいきっかけになればいいなとは思っていますので、人的支援も入れさせていただきます。

(発言する者あり)

### ○ 萩須智之委員長

新規も受け付けますが、まず振り返りからやらせていただいてもよろしいですか。

そうしましたら、順を追ってということで、緊急輸送道路についてということからご意見をいただこうかと思うんですが、新規については、今、ひな形を配らせていただいております。

この緊急輸送道路につきましては、10月、拠点ができてから県との交渉で、理事者の雰囲気では今年度中に第1次に認めてもらえるとして、国道477号の問題を解決するんですが、そのほかはほぼ進まない状態でございまして、無電柱化までを見渡すと本当に難しい点がたくさんございます。予算には若干反映はされておりますけれども。

### ○ 村山繁生委員

無電柱化のことも再度別に提案するのはいいと思うんですけど。技術は物すごい革新されて、従来の半値ぐらいになっておるといのは聞きましたけど、だからそういったものはどんどんどんどん技術が革新されているので、もうすぐ本格的に検討する必要ぐらいは別に書いてもらってもええと思うんですけど。

### ○ 笹岡秀太郎委員

私も村山さんと同じ意見なんですけど、無電柱化というのを一くくりして、それこそ多額な費用がかかるんだと言うけど、法の改正やら様々な規格の見直しで、廉価でできる技術も、あるいは法制度も整ってきておる中で、例えばミニ開発のところなんか、業者にそれを無電柱化のことを進めなさいという法律といたらおかしいかな、方針も出されておる中で、多額の費用がかかるからといって一くくりにしてしまうのはちょっと乱暴かなと。

それは、もう少し視点を変えて、様々な手法があるのではないかな。だからそういう視点は大事なかなという気がします。

#### ○ 萩須智之委員長

一くくりにせずにということですね。もうちょっと突っ込んだ表現にさせていただくように、分かりました。状況に応じて進めよということですね。

ちなみに、すみません、勉強不足で。こういうのについての補助制度も国は整備していますかね。開発とか、ああいうのに対する。

#### ○ 笹岡秀太郎委員

だから、国のほうとしては、もちろん補助もそうなんですけど、一律のくくりの従来の工法じゃない制度もきちんと法改正もしてきていただいて、条件は年々整ってきておるといふふうに理解しているんです。一応、いろんなものを見ておると、それを活用したまちづくりをしているところが実際にあるので、それはやっぱりもう少し広い視点でというのは当然のことやと思うんですよ。ということです。

#### ○ 萩須智之委員長

ありがとうございます。それを加筆させていただきます。

あとは、第2次以降の建築物の耐震化の義務化とかいうのは非常に難しい問題もあるんですが、要は、提言の中の2の緊急輸送道路の指定については今年度末に国道477号が第1次に引き上げられたらこの部分に変更になる。ですが、無電柱化については、逆に進めるような文言を入れさせていただいて、この上の段なんですけれども、調査研究を行い、今後の対応についても検討すべきを、もうちょっと突っ込んだ表現に変えさせてもらったほうがいいですね。

#### ○ 笹岡秀太郎委員

課題は課題として、こうやって状況として報告があるけれども、課題としてあったものが様々な方向性で整理されていく中で、そういう視点を持った可能性についての調査研究をもう少し強くするみたいなところ、調査研究を行っていくという表現ならええんやけど、多分していないと思うよ。

○ 萩須智之委員長

無電柱化が方向づけされているという前提でのというふうにしたほうがいいですか。

○ 笹岡秀太郎委員

現実、国の主要道路である国道1号とか、そういうところは無電柱化、どんどん進めているじゃないですか、国の仕事として。そうじゃなくて、地方自治体が扱う視点での無電柱化というあたりの視点が抜けているかなという気がするんです。だから、主要道路とか国道、県道の無電柱化を考えると、それは確かに多額の費用がかかるのは間違いないんだけど、それにしても廉価でできる条例の改正とか法令の改正とか、技術革新が起こっておるのは間違いないので、その辺をうまくうたっていただければなという気がします。あとは樋口さん、どうぞ。

○ 樋口博己委員

総合計画ではスマートシティ構想というのも出ていまして、一部エリア、新たな開発とか、そういうところはイメージするだろうなと思います。

笹岡委員からも開発に伴うというご発言もあったんですけど、既存のところを無電柱化するところの概念もあると思いますし、新たな開発においてはそういった無電柱化を支援することもあるのかなと思いますので、様々な新たな、村山委員がおっしゃった新たな技術革新の手法を用いる中で無電柱化を進めるというような表現なのかなと思っています。

○ 萩須智之委員長

分かりました。スマートシティが総合計画にもあるということも言及させていただいたほうがいいですね。ありがとうございます。

○ 土井数馬委員

ちょっと的は外れますけれども、この間もテレビで、空飛ぶ自動車が出てきたわけですよ。大阪の中に往復で、ピストンで、タクシーみたいな、2027年かを目標としておると。そういうのを見据えていくのであれば、やっぱり無電柱化というのは将来的に当たり前の



ことだと思うもので、やっぱり私もそれには賛成です。意見ですよ、そんな話もあったで。電線があると引っかかるもんね。

○ 萩須智之委員長

今までになかったそういう交通手段ができてきたということですね。そういう面でも必要だということですね。

引き続き、耐震の調査等はずっとやっていくという前提になると思うんですが。あとの表現はあまり変わりませんね、2次から4次までの沿道の状況について点検を行い、現状を把握する、先進事例・液状化への対応、液状化への対応というのも実際にはなかなかできていませんけれども、市内にたくさんそういう地区がありますので、結構内陸部にもありますので、こういう表現かなとは思いますが。

ありがとうございます。これで結構な加筆になると思います。ありがとうございます。

(発言する者あり)

○ 萩須智之委員長

そうしますと、サンプルでお配りした論点整理シートのここが大事なんですね。事業実施に関する各委員の意見表明なんですが、どうでしょうか、拡大に相当するんでしょうか。

前回は無電柱化には言及しておりますので、より進めよという感じなんですが、全く新規というところでもないもので、どうかなと思いがすが。

(発言する者あり)

○ 萩須智之委員長

その他ですか。では、その他事業実施手法の見直しということにさせていただいてよろしいでしょうか。

○ 笹岡秀太郎委員

見直しというと、ちょっと今の議論からいくと違うんやな。要するに実施手法としてはやっていかなあかんけど、その中の視点を少し変えたらというのであれば見直しになるん

やけど、実施手法の醸成とか、ちょっとじっくりこないかな。

○ 荻須智之委員長

それでもええの。その他というのは何でも書けるの。などってなっておるで。

○ 小林議会事務局主事

ちなみにごめんなさい、ちょっと今さら過ぎてあれなんですけど、ほかの委員会でも昨年度のこの提言に対する取扱いは議論をいただいています、その中で継続して見守っていかうというようなお話も出たように聞いております。ごめんなさい、しっかり聞いた話ではなくて、ちょっと伝え聞いた話なので、あれなんですけれども。

そこでは一応、分科会長報告に書いていくというような整理になったように聞いておりますので。ごめんなさい、どうしていけばいいのかというのは私もなんとも言えないですけども、その他で継続として論点整理シートを出していただくのか、最初に豊田委員が言われていたのは、分科会長報告に出しつつ、継続して報告を求めていきたいと、加筆、更新をしていってほしいというお話で、それを決算常任委員会として提言をさらに更新していくのか、もしくは総務の分科会として求めていくというのも一つできるのかなと、今ちょっと聞いておりました、思いましたので。

○ 荻須智之委員長

どうしたらいい。

○ 笹岡秀太郎委員

ここの今の議論を見ておると、1、2、3、4ではないわな。そうすると、その他のまとめで、正副でやってもろうたらどうなの。

○ 荻須智之委員長

そうですね、広い意味でいえば、事業実施手法の見直しに当たるとも言えますので、取りあえず、5番、その他にさせていただきますでしょうか。

○ 土井数馬委員

事業実施表の見直しを行いながらとか何かつけて継続していくと、そんな感じじゃないですかね。

○ 荻須智之委員長

ありがとうございます。

取りあえず、5番、その他として、現在技術革新も進んでいるからとかということで、継続ということに落ち着かせていただきます。

発案者の方の意見が重いんですが、始めた人が大事です。

一応こういう形で進めますが、また、今後ご意見、修正等ありましたら対応させていただこうと思います。

ここでちょっと一旦、お昼にさせていただこうかと思いますが、よろしいですか、ずっとやりますか。

あと、まだ実行委員会形式と、それから文化財関連の補助金等ありまして、それと樋口委員から新規のご提案もございますが、ずっとやりますか、休憩しましょうか。

○ 豊田政典委員

継続のやつは、この会議のまとめを委員長に書いてもらうだけやんか、簡単に言えば。樋口さんのやつを提案してもらって、形にすれば終わりじゃん。

○ 荻須智之委員長

実行委員会形式は今のようにもまなくていいですか。

○ 豊田祥司副委員長

委員会の中の発言をそういう形で落としていくのか、論点シートも継続で上げていくみたいなの。

○ 荻須智之委員長

この1、2、3、4、5だけ決めていただけるとありがたいですけど。

(発言する者あり)

○ 荻須智之委員長

実行委員会形式3事業についてということですが。

請け負う団体を育てるとかということややり方が変わるということですから5になりますか。

(発言する者あり)

○ 荻須智之委員長

あと、文化財は当委員会だけではどうにもならないのですが、これについてはいかがですか。

○ 豊田政典委員

あれも話し合いは進んでいないと思うので。

○ 荻須智之委員長

継続ですか。

○ 豊田祥司副委員長

この場では予算が伴っていないという言い方でしたよね、シティプロモーション部。ほとんどの扱っているものについては予算が伴っていないから話がちょっとほかと違うんじゃないかという話、多分その辺りでいいんじゃないですか。

○ 豊田政典委員

政策的な提言なんやから、それはそれでええ。

○ 荻須智之委員長

どうしましょう。

複数の部署にまたがる文化財関連事業見直しし、市民にとってより分かりやすく使いやすしいリニューアルが全くされていないということなんですが、5の継続ですか。そうしますと。

(発言する者あり)

○ 荻須智之委員長

承知しました。これも5で継続ですね。なかなか1年では結論は出ないですね。

では、そういうことで、委員会内で出していただきましたご意見をまとめて表記の仕方  
も迷ってはあったんですが、分科会長報告の中にばらばらに入れるのではなしに、最後ま  
とめた形で報告したほうが分かりやすいと思いますので。

これもどう報告を上げるかというのが、その形態も決まっていない。

全体会送りというくくりとも違うよね。それも含めて調整会議でどう報告するか。

○ 豊田祥司副委員長

その前にもう作ってしまわないと。

○ 荻須智之委員長

そうやな。

○ 豊田祥司副委員長

正副に任せていただいてという形で。

(発言する者あり)

○ 荻須智之委員長

じゃ、この報告形式も含めて正副で預からせていただきます。

副委員長が言ってしまったので、自分でやります。何せ新しい試みですので、まだ手探  
りで申し訳ありません。

それでは、樋口さん、どうぞ。新たな提案をお願いします。

○ 樋口博己委員

ちょっと予算がどれに当たるかはあれですけども、ICT戦略課のところで質疑させ

ていただいた窓口支援システム、行政内部システム及びスマート自治体の取組状況についてというところで質疑させていただいて、税総合システム等の構築ということでやりましたが、将来を見据えた対応ができるようなシステムの更新ということは答弁にありましたけれども、もともとICT戦略課に、推進課から戦略課になったのは、スマート自治体の実現といった長期的なビジョンを持って取り組むことは必要であることから戦略課にしたんだというようなことが今年の答弁でもありまして、まだまだ推進課の域を超えていないなというところで、コロナ禍でもありますし、国のほうもデジタル化というのが強力に進めるという方針を出していますので、そういう中で、ちょっと例として、資料を皆さんにお渡ししたんですけれども、これ、5枚物は千葉のちばしチェンジ宣言！というものがありまして、これは新型コロナの感染防止というので、テレワークの実施とか公共手続の窓口に不安があるのでオンラインでやっというふうなことで、2枚目を見ていただくと、市役所が変わるということで、窓口に行かなくていいと、待たなくていい。これは、オンラインで今できること、また今後新たにやることということでもあります。

また、3枚目を見ていただくと、行政手続を原則オンライン化ということで、これはマイナンバーが必須の中でやっていますが、下のほう見ていただくと、再来年の令和4年度末までに、市民の90%が所持するというすごい目標を掲げてやっというふうなことで、これを具体的にどうこうとは書けやんですけれども、市民の利便性の向上、オンライン手続の推進という観点で提案させていただけたらなと思いますけれども。よろしくお願ひします。

また、豊田市はICT化へ向けて、豊田市ICT活用ビジョンというのもつくっていまして、たしかこれ、令和2年度から令和6年度まででICTを進めていこうという、このような計画も立てておりますので、四日市としてもしっかりと市民の利便性が向上できるようなオンライン手続を、また利便性の向上ができるようにしていただけたらなということと提案をさせていただきたいと思ひます。

#### ○ 萩須智之委員長

ありがとうございます。

見出しとしては、事業名はどういうふうに書かせてもらおうとよろしいでしょうか。

#### ○ 樋口博己委員

スマート自治体の実現というような形になるかなと思います。

○ 萩須智之委員長

スマート自治体の実現ですね。中身としては、こういう例も含めて、デジタル化を進めるということによろしいですか。

(発言する者あり)

○ 樋口博己委員

主要施策実績報告書の55ページを見ていただくと、下のほうで、行政内部情報システムの安定運用の継続を図るところで、行政内部システム保守運用委託397万円なのかなと見ておるんですけれども。ちょっとどの予算がふさわしいのか分かりかねますけれども。

○ 豊田政典委員

該当する予算を書くところは、笹岡委員が言われているように、もっと広く大きく書いておけばいいんじゃないかと思うんですけど、一つ樋口委員に確認しておきたいのは、論点整理シートはあくまでも決算審査の中から浮かび上がった論点を書きますやんか。申し訳ない、あまり聞いていなかったのかも分らんですけど、質疑、答弁があったり、樋口委員の意見もあったりというのは書き込めそうなんですか。

○ 樋口博己委員

質疑で確認したのは、例えば市民にとって利便性が何か向上するのかというふうな聞き方をしても、なかなかそういう答弁がなかったのも、じゃ、職員が業務上、効率がよくなったりするのかというのもなかなか明快に答弁がなくて、結果として将来的にいろんなシステムが入ったりするのに対応できるようなシステムを更新するんだというようなことだったと思いますので、そういうオンライン申請とか、そういう視点がなかったのも、そういう視点を入れるべきだというような意見です。

○ 豊田政典委員

分かりました。

○ 荻須智之委員長

そうしましたら、予算はちょっと調べないと数字まではなかなか出ませんが、提言として増額とかというのでもいいかも分かりませんので。

○ 樋口博己委員

産業生活分科会のほうで、マイナンバー関連と地区市民センターに関連して、マイナンバーの推進であるとか地区市民センターのバリアフリー化、これは階段の段差のバリアフリーじゃなくて、障害者、聴覚障害者とか、そういういろんな方の手続が、利便性が向上するというような、いわゆるデジタル化によってそういう利便性が向上するというような趣旨で論点シートが上がってくるというふうに聞いていますので、それと併せて議論いただけたらなと思っています。

○ 荻須智之委員長

それも含めてということなんですね。その観点でということ。

○ 樋口博己委員

調整会議等で一緒にしていただいても結構ですし、別々がいいのかちょっと分かりませんが、視点としては同じ視点だと思っていますので。

○ 荻須智之委員長

ありがとうございます。

このご発案について、ご意見、ほかによろしいでしょうか。

○ 土井数馬委員

千葉市にもありますけど、コロナウイルスのことでこれから社会の在り方が変わっていくという、こういう時期になかなかいい提案じゃないかなと思うんですけども、窓口に行かなくても済むとか、やはり時宜を得たものだと思いますので、ぜひお願いしたいなと思います。



○ 荻須智之委員長

ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。よろしいですか。

(なし)

○ 荻須智之委員長

また樋口委員、内容を詰めるのにご協力いただきますようお願いいたします。ありがとうございます。

これについても、その五つの意見表明をせなあかんのですが、これは新規事業ですかね。

(発言する者あり)

○ 荻須智之委員長

拡大ですか。一応やっている中で、それを増やせということ。

了解しました。3番ですね、拡大で。

これでいいですか。

(異議なし)

○ 荻須智之委員長

本当におっしゃられるように、ちょっと四日市市、出遅れているかなという感じはありますので、本当にタイムリーなテーマだと思います。ありがとうございました。

それでは、これで全部かな。

○ 村山繁生委員

新しいところで、もし却下なら却下で仕方ないですけど、決算から予算を反映させる意味で、花火大会の事業費の中身、もし上げてもらえるなら。

○ 荻須智之委員長

花火そのものの予算を増額……。

○ 村山繁生委員

中身、要するに4500万円の支出で、花火そのものの打ち上げも含めて1500万円、3分の1しかない。運営費のほうが多いわけです。そういう運営委託とかも10年以上ずっと、大田市まつりも同じ業者がやっておるわけですね。そこを事業費が2000万円以上でしたよね、たしか。逆にならんと本当はあかんと思うんですけど。花火費と運営費が逆にならなあかんと思うけど、そこがどうも私も納得いかんもんで。そこはもっと運営のやり方を変えて、中身を。

○ 荻須智之委員長

これは加筆したほうがいいですかね、そうしますと。

○ 笹岡秀太郎委員

村山さんがしっかり議論をそのところで積んでもらったやんか、分科会長報告にそうやってつけてもらえれば、それでいいんじゃないの。

○ 荻須智之委員長

前回強調されたように、分科会長報告には必ず入れますので。

○ 笹岡秀太郎委員

強く入れてもらえばいい。

○ 村山繁生委員

それなら入れておいてください。

○ 荻須智之委員長

じゃ、分科会長報告で強く押すということで。

○ 村山繁生委員

それでいいです。

○ 荻須智之委員長

ありがとうございました。

(発言する者あり)

○ 荻須智之委員長

樋口さんからあしたメールでとかというのは……。

4人で詰めますわ。樋口委員、ご協力お願いします。

よろしいですかね。

(異議なし)

○ 荻須智之委員長

では、長い間お疲れさまでした。これにて総務常任委員会を閉じさせていただきますので、お疲れさまでした。ありがとうございました。

あしたは午前10時からです。

12 : 16 閉議